

おばま 市議会だより

No. 165

新型コロナ対策などのトピックス……P2
市政を問う！一般質問 ……………P8

新型コロナ対策などのトピックス

歩いてゲット おばまチケット

からだウィーク！おばまで動く！大作戦
966万1000円

説明 一週間の歩数に応じて、市内で使えるお買い物券「おばまチケット」1000円分または500円分を交付する。

問 チケット交付の条件を確認する方法と、交付の基準となる歩数の設定理由を問う。

答 チケットの交付に当たっては、小浜市インフォメーションセンターなど指定された場

所において、携帯電話の歩数計アプリなどで確認する。歩数については、生活習慣病の予防に効果があるといわれている一日当たり8000歩の基準を設け、さらに取り組みやすい6000歩の基準も設定した。



宿泊客に小浜でお買い物

ようこそ小浜へお客様歓迎事業
2164万3000円



おばまチケット

説明 市外からの宿泊客にお礼の手紙と、原則一人1000円分の「おばまチケット」を配布する。

問 対象となる宿泊施設および事業の目的を問う。

答 対象宿泊施設は市内65カ所を想定している。宿泊施設からお客様に特産品などのPRチラシを配布い

ただくなどにより本市の魅力を発信し、チケットの利便で滞在時間の延長や市内経済の好循環につなげた。

意見 12月末までと期間が限られていることから、旅行先として本市を選択していただけのように旅行予定者への事前PRに努めてほしい。

文化財の保存・活用を機運を醸成するためのシンポジウムや講演会等を取りモートで行いオンライン配信するもの。

文化財の魅力をオンライン配信

おばまだからできること。文化財保存活用地域計画
実践事業
130万5000円

説明 文化財の保存・活用を

問 今後の事業実施を踏まえた機材整備の考え方を問う。

答 必要な機材を購入することにより、アーカイブの整備充実を図っていく。動画編集

作業などは委託するのではなく、スキルを備えた学芸員の目線で上質な映像や画像を撮影し、本市の歴史文化を次代に継承するための資料として活用していく。



小浜病院に経営コンサルタントを導入

公立小浜病院経営改善アドバイザー導入負担金
1159万8000円

説明 小浜病院が経営を立て直していくために、経営コンサルタントによるアドバイザリーサービスを受けるための経費1474万円のうち小浜市負担分。

問 今回予算要求することとなった経緯を問う。

答 これまで病院自らの経営改善が進められてきたが、順調に進まない中で、

金融機関のアドバイスもあり、今般、アドバイザーサービスを受けることについて、小浜病院と構成市町で意見の合意が図られた。



【可決した令和2年度補正予算】

会計名	既決予算額（※1）	9月補正額	合計（※2）
一般会計	195億9,873万円	1億8,468万円	197億8,341万円
特別会計	75億5,232万円	3,563万円	75億8,795万円
企業会計	34億2,446万円	△703万円	34億1,743万円
合計（※2）	305億7,552万円	2億1,327万円	307億8,878万円

※1:専決処分(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第8号)の8,823万円の増額を含みます
※2:端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

委員会審査の主なもの

予算決算常任委員会 (9月補正)

名田庄線流星バスを 支援

地域生活路線バス運行継続特別支援事業 50万円

説明 コロナ感染症の影響で、バスの運賃収入が大きく減少しており、バスの運行を継続するため、支援するもの。

問 事業対象は名田庄線のみであるが、若江線など広域路線バスに対する支援は。

答 今回は、小浜市とおおい町をまたいだ広域路線バスの支援である。今後、JRなどのバス事業者から要請があれば、関係市町と支援の調整が必要になる。

観光地のトイレ改修 とガイドを充実

**おばま観光周遊滞在満足度向上事業
866万1000円**

説明 市内公衆トイレの洋式化とイヤホンガイド機器の貸し出しを行うもの。

問 公衆トイレ洋式化のスケジュールとイヤホンガイドの活用方法は。

答 公衆トイレの洋式化は3カ年で整備する。本年は寺院5カ所、残り2カ年で14カ所を整備する。イヤホンガイドは、観光客に人気のある若狭の語り部のガイドを、ソーシャルディスタンスを保ちながら可能にする有効な手段として選択した。

修学旅行のキャンセル料を支援

**小中学校教育活動支援補助金
1070万3000円**

説明 小中学校の修学旅行がコロナ感染症で延期等になった場合に、そのキャンセル料を支援するもの。

問 修学旅行の行き先を決定するまでのプロセスは。

答 各学校で教職員とPTA役員等で相談しながら検討している。教育委員会は、コロナ感染対策の徹底を指導し、行き先に関する相談を支援するが、最終的には各学校で

判断する。

総務民生常任委員会

条例審査(主なもの)

小浜市市税条例の一部改正について

ひとり親家庭の控除の見直し

説明 全てのひとり親家庭に対して公平な税制を実現する観点から、「婚姻歴の有無による不公平」と「男性のひとり親と女性のひとり親の間の不公平」を同時に解消するための改正。

問 控除の見直しによる税金への影響は。

答 今年度の課税状況調べを基に算出すると、税金に大きな影響はない。

低未利用地の特別控除

説明 保有期間5年超で、建物等を含めて譲渡価格500万円以下などの要件を満たす低未利用土地等の譲渡所得に100万円の特別控除を追加する改正。

問 低未利用土地であることを認定する機関は。

答 土地の売買後に、市県民税申告の場合は本市が、国税申告の場合は税務署が判断することになる。

意見

低未利用土地に該当するか否かによって税額が変わることとなるため、売買前に確認できるよう、手続き等についてしっかりと市民へ周知してほしい。

陳情審査

地方財政の充実・強化を求める意見書採択について

内容 昨年に引き続き、来年度の政府予算と地方財政の検討にあたって、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を実現するための意見書の提出を求めるもの。

意見

新型コロナウイルス対策に関して、国の責任において十分な財源を確保することは非常に大事である。また、森林環境譲与税の適正配分を強く求めていくべき。

日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情

内容 非核三原則を堅持するとともに、アメリカの核の傘からの離脱を決定し、核兵器禁止条約への賛同と批准の手続きを進める意見書の提出を求めるもの。

反対意見

核兵器禁止は望むものではない。被爆者に対して私たちができることは核兵器廃絶を示すことである。

核兵器禁止は望むものではないが、核なき世界は核保有国と非保有国の対話と協力がなければ実現しない。核保有国の理解と協力が無い現時点では実効性に疑念を抱く。

委員会ってどんなん？

予算決算常任委員会の産業教育分科会調査を傍聴に来られた方に傍聴しての感想をお聞きしました。

議会の仕事は、計画を実行する際に使うのが市民から徴収した税金のため、本当にそのお金をそのイベントに、その場所に使うのが適正か、また使うならその内容が適切かということまで突っ込んで聞いてくださいます。まさに市民の声の代弁ですね。どれも興味がある議題で、可決される前に一般市民が聞いて良かった。自分たちの住む街の大事なことをこの人たちが決めていた！

これからもっと市議会議員さんをよく選ばうと思った。いろんな年代、いろんな業種、そして男女も半分ずつくらい割合で議会が成り立つといいなと思いました。

(清水香名子さん・30代)

令和2年第4回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名	項目	件名
報告	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における健全化判断比率の報告について	陳情	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について
	地方公共団体の財政の健全化に関する法律における資金不足比率の報告について	意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書
	議会の委任による専決処分の報告について(損害賠償の額を定めることについて)(2件)		原子力防災対策の充実と特別措置法の延長を求める意見書
予算	専決処分につき承認を求めることについて(令和2年度小浜市一般会計補正予算(第8号))	人事	教育委員会委員の任命について(桂田 理津子氏)
	令和2年度小浜市一般会計補正予算(第9号)	認定	令和元年度小浜市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度小浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		令和元年度小浜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度小浜市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		令和元年度小浜市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度小浜市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		令和元年度小浜市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度小浜市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		令和元年度小浜市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計補正予算(第1号)		令和元年度小浜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和2年度小浜市水道事業会計補正予算(第1号)		令和元年度小浜市漁業集落環境整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
令和2年度小浜市下水道事業会計補正予算(第1号)	令和元年度小浜市加斗財産区運営事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
条例	小浜市市税条例の一部改正について		令和元年度小浜市水道事業会計決算の認定について
	小浜市国民健康保険税条例の一部改正について		

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員(可決・採択) 多=賛成多数(可決・採択) 否=賛成少数(否決・不採択)
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥(規定により採決に加われない)
 棄=棄権(採決時に退席)

項目	件名	採決結果	杉本和範	東野浩和	川代雅和	坂上和代	熊谷久恵	竹本雅之	牧岡輝雄	藤田靖人	佐久間博	小澤長純	今井伸治	能登恵子	下中雅之	垣本正直	藤田善平	風呂繁昭	富永芳夫	池尾正彦	賛成	反対
陳情	日本政府に「核兵器禁止条約」への賛同と批准を求める意見書の提出に関する陳情	否	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		○	×	×	×	×	×	×	2	15
認定	令和元年度小浜市一般会計歳入歳出決算の認定について	多	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	16	1

※今井伸治議員は議長のため採決には加わっておりません

可決した意見書(概要)

※可決された意見書は国会や関係行政庁に提出しています。

地方財政の充実・強化を求める意見書

いま地方自治体には、医療・介護などの社会保障や子育て支援策、地域交通の維持・確保など複雑化した行政需要への対応が求められている。

実が求められる。
 このために、2021年度政府予算と地方財政の検討に当たって10項目の実現を求める。

主な項目

- 地方の安定的な財政運営に必要な一般財源総額の確保をはかること
- 社会保障予算の確保および地方財政措置を的確に行うこと
- 新型コロナウイルス感染症対策として、十分な財源を確保すること

原子力防災対策の充実と特別措置法の期限延長を求める意見書

国の原子力発電等エネルギー政策において、大飯発電所に隣接し、半径20km圏内に全市民が居住している本市にとっては、立地地域と同様の安全・安心を第一に取り組んでいただきたい。今般のコロナ禍において実効性のある避難計画への見直し、特に移動手段の確保、避難道路の整備等自治体だけでは対応できない多くの課題がある。

原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法の期限を延長すると共に、国が責任を持って地

域振興策を講じていただきたく5項目を要望する。

主な項目

- 特別措置法の10年延長
- 舞鶴若狭自動車道の全線4車線化による広域避難体制の確立
- 使用済燃料の中間貯蔵施設の県外立地計画の促進
- 定期的な避難訓練と広域避難計画の検証・見直し
- 立地および周辺地域の枠組みの見直し、国の一元的な原子力行政への取組み

敦賀開業後の切れ目ない着工を！！

北陸新幹線早期全線開業特別委員会研修会 報告

日時 令和2年8月7日(金)

演題 「北陸新幹線の早期全線開業に向けて」

講師 自由民主党整備新幹線等鉄道調査会

北陸新幹線整備プロジェクトチーム座長

高木 毅 衆議院議員

講演内容

コロナ禍での新しい生活様式が求められている中、東京一極集中から多極化への是正策として、テレワークなど就労スタイルが変化していく時代でもあり、その中で新幹線は有意義である。6月24日の北陸新幹線整備プロジェクトチームの会合において、新型コロナウイルス感染症による敦賀開業や敦賀以西の整備財源議論への影響はないと確認した。敦賀以西の財源については、2023年度予算に盛り込む必要があり、22年の夏から暮れにかけてが極めて重要であり、勝負の時期となる。

北陸新幹線の早期全線開業には、今ひとつ沿線地域の盛り上がりに向けているのではない。京都・大阪とも連携して意識を強めることが重要であり、小浜市には他の沿線地域を引っ張ってほしい。地元への熱意が何より重要であり、小浜市からの働きかけに期待している。



質疑応答

問 小浜線はJRから経営分離される並行在来線に当たるか。

答 小浜線は、新幹線と競合する、いわゆる特急列車が走っている路線ではなく、考え方としては該当しないものと捉えている。

問 特に京都を含めた関西との連携が重要だが、小浜市議会としてどのような活動が効果的か。

答 関西と北信越地方が結ばれることで経済活性化に有効であることを訴えていただきたい。また、議会間の意見交換の場を作り、京都・大阪の機運を盛り上げるようにお願いしたい。

閉会中継続審査を決定

常任委員会における次の所管事務調査事項について、閉会中も調査を継続することに決定しました。

産業教育
常任委員会

これからの市営公園のあり方について

各振興協議会の報告

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、小浜市・若狭町・高島市総合振興協議会では、令和2年度総会に代えて書面での事業報告などを議決しま

した。また、小浜市・若狭町総合振興協議会ならびに小浜市・おおい町総合振興協議会では、令和2年度協議会の開催を中止しました。

秋の議会報告会を中止します

議会では、小浜市議会基本条例に基づき「市民とともに歩む開かれた議会を実現する」ため、議会報告会を年1回以上開催することと定め活動してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止し、市民の皆様の安全・安心を守るという観点から、中止と判断させていただきました。市民の皆様と対面して実施することはできませんが、メール等を通してご意見をいただけますと幸いです。ご理解の程よろしくお願ひいたします。

議会を傍聴しませんか？

— 12月定例会の予定 —

11月30日(月)	本会議・予算決算常任委員会
12月 2日(水)	総務民生常任委員会(分科会調査)
12月 3日(木)	産業教育常任委員会(分科会調査)
12月14日(月)	一般質問
12月15日(火)	一般質問
12月16日(水)	予算決算常任委員会
12月18日(金)	本会議

今月の表紙

『小 浜 湾』

き ひら まさる
紀平 勝さん(甲ヶ崎)から応募いただいた作品です。

紀平さんは30年ほど前に初めて訪れた小浜の海に感動し、約10年前に京都から移住されたそうで、今回はそんな小浜の海を阿納尻から撮影いただきました。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等に応じて、変更が生じる場合があります

令和元年度決算を認定

一般会計

歳入 167億2,199万5,906円
歳出 161億6,055万2,965円

決算審査は、市の予算が適正に目的どおりに使われているのかを審査し、翌年度の予算編成や将来の財政計画に反映するための重要な役割を担っています。

審査については、まず予算決算常任委員会にて行い、さらに慎重に審査するため総務民生・産業教育それぞれの分科会において調査を行う方法をとっています。

総務民生分科会

ふるさと納税を増やそう

▼ふるさと納税事業

1億4,403万2,192円

問 財源確保の面から有効な本事業の今後の効果的な取り組み方法は。

答 小浜市の特徴を目に留めてもらえるような返礼品のアイテム数を増やすことや、宿泊体験などと組み合わせることで誘客につなげる等、ラインナップを増やしていきたい。
意見 御食国大使や全国の小浜市出身者への協力依頼など、一考の余地がある。

災害時の情報収集は

▼防災維持管理経費

19,477万4,188円

説明 水防対策支援サービスは、台風の進路予想や雨量の情報が得られるもので、平成17年度から提供を受けている。

問 インターネットで各省庁などから災害情報

が得られる状況にある今、本サービスの有効性と今後の事業継続の必要性は。

答 他の媒体と比較して、より長期間にわたり、小浜市のピンポイントの情報が見られるという利点があるが、様々な媒体が増えている中で、当該サービスが効果的なものか検証していく。

医療費助成のあり方は

① 重度障害者(児)医療無料化対策事業

1億4,378万6,690円

問 課題として挙げられている「他市町が単独助成を廃止している中の本市単独助成の継続」について、その内容は。

答 本市の身体障がい者への医療費助成は、障害等級1級から3級の方には県補助2分の1で自己負担の全額を助成、4級の方には市単独で半額を助成している。4級の方への助成について他市町では廃止・縮小する動向があり、本市も検討を

要する状況にあるため、助成の継続を課題と捉えている。

② 子ども医療費助成事業

8,381万3,794円

問 対象年齢の引き上げの検討状況は。

答 高校生の医療費助成が未実施なのは、県内で本市を含め5市町である。この事業が出生率向上に即効性があるとは思えないが、他市町との差異も考慮しつつ引き続き検討する。

効率的な維持管理を

▼クリーンセンター施設管理経費

1億8,905万4,495円

問 クリーンセンターに高額な修繕料を要する理由は。

答 運転を開始した平成12年度から数年の修繕料は、毎年2千万〜3千万円であったがその後徐々に増加し、改修しないと年間約1億円の修繕料がかかるかと予測されたので、それを抑制するために大

規模改修を行った。その後修繕料は4千万円程度に抑えられた。今後もなるべく費用がかからないようにしていく。

食のまち小浜の発信を

▼A級(永久)グルメ継承事業

3,993万4,044円

問 本事業への小浜市の関わり方は。

答 本事業は、小浜市として実施する事業と、につぼんA級グルメのまち連合として実施する事業との2本立てとなっている。小浜市として実施する事業は、若者を地域起こし協力隊として小浜へ呼び込み、食に関連する研修を通じて本市で就職や起業していただくことを目的とし、関係部署の職員が連携して対応している。連合として実施する事業は、催しなどの際に、連合の専門員が本市のPRやフォローをするもので、市職員が連合職員と共に事業を展開することもある。

産業教育分科会

サル被害の対策を

▼有害鳥獣駆除事業

3341万7640円

問 捕獲頭数の推移と農作物への被害状況を問う。

答 シカは生息数が増加傾向にあり、継続的な捕獲による個体調整が必要である。

イノシシは、豚熱の関係で捕獲頭数および処理頭数が大幅に増加している。

サルについては、アンケート調査や現地確認等により状況の把握に努めているほか、現在、嶺南6市町が連携し、GPSを活用した調査、捕獲檻の設置場所の検討など、引き続き被害を減少させるための対策に取り組んでいく。

農作物への被害は2、3年は、横ばいからやや増加傾向である。



小浜の新しい顔に

▼(仮称)小浜駅前インフォメーションセンター整備事業

5619万5067円

問 事業成果および当該施設の運営状況を問う。

答 外国人観光客がWiFiを利用し観光情報を閲覧するなど、利用者の滞在時間が増加したほか、高校生等の市民も多く立ち寄っている。小浜線を利用し来訪される観光客をお迎えする新しい顔が完成したと捉えている。

利用しやすい施設運営を

▼若狭総合公園温水プール管理費

4520万1108円

問 温水プールの赤字経営が続いている中、県との委託契約内容と県への事業実績報告の内容を問う。

答 毎年度、温水プールにかかる管理経費として県へ実績報告している。今後は公園部分を含む

む若狭総合公園全体の管理経費や歳入の計上について、所管の都市整備課と協議し検討する。

意見 市民が利用しやすくなるような運営と利用率の向上に向けた業務内容の見直しについて県と協議してほしい。

三井家御殿の価値を知ってもらおう

▼文化遺産活用推進事業

548万7205円

うち三井家御殿部材運搬業務 220万円

問 令和元年9月定例会において事業費の見直しを含めた附帯決議を議決した当該業務について、その実施状況を問う。

答 新型コロナウイルス感染症拡大に伴いイベントが中止になってきているが、今年度中の最適な時期に市直営で特別展示を実施していきたい。

意見 部材だけでなく、小道具や屏風、襖絵などもあわせて公開し、三井家御殿のルーツなども含め文化財の価値が市民に伝わる展示してほしい。

自由討議

いづみの広場と鯖街道MUSEUMについては、平成29年度に着手以降、全体事業費として約1億150万円支出されており、予算が事業目的どおり使われたのかを確認し、次年度以降の予算編成に反映させるための自由討議を実施しました。

意見

- ・ 地方自治法第2条第14項で規定されている、「地方公共団体は、住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」という視点が不足していた。

- ・ 全体事業費として1億円を超えるが、あまりにも小規模で、建物と広場に要した事業費が逆転している。費用に見合うインパクトに欠けるなど、基本コンセプトの設定に問題があったのではない。

はないか。

これまでの予算審査における事業費の精査が十分でなかった。本市の厳しい財政状況の中、議会としての執行機能に対する監視機能の充実が課題である。

今後、小浜縦貫線が全線開通する中で、本施設がどのような役割を担っていくのか、また管理体制の在り方について、議会として、今後注視していくべき。

その他、入札方法についてなど、多くの議論が交わされました。

寄附行為の禁止について

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。

禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病氣見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状(答礼のため)の自筆を除く)

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

市政を問う！一般質問

令和2年第4回（9月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

氏名	質問項目	氏名	質問項目
風呂 繁昭	1.小浜市の財政について 2.小浜市の行政経営プランについて 3.持続可能な財政運営 4.経営感覚を持った行政機構 5.市民との協働体制	能登 恵子	1.新型コロナウイルスから学び今後の対策は 2.北陸新幹線小浜ルート早期開業のシナリオは
坂上 和代	1.給食調理業務委託先の決定経過と現状を問う 2.新型コロナウイルス禍への対策について	熊谷 久恵	1.小浜市の鳥獣被害について 2.緊急情報の周知方法について 3.小浜市のホームページについて
佐久間 博	1.行財政改革の推進について 2.ふるさと納税事業の拡充について	東野 浩和	1.まち歩き観光の推進について 2.国が促す災害に備えた支援計画について
牧岡 輝雄	1.公立小浜病院の医師確保・運営に対する支援 2.JR小浜線の活性化について 3.新型コロナウイルス対策	杉本 和範	1.人材の「育成」について 2.窓口での市民サービスの拡大について 3.スーパーシティ構想について
		川代 雅和	1.コロナ禍における民宿の経営について 2.防災における水害等の避難や避難所について



風呂 繁昭
議員

問 今後の財政の見込みについて。
答 今まで借り入れた起債償還が本格的に始まり、広域一般廃棄物処理施設や広域斎場整備などの大型事業の負担金が、より一層厳しい財政状況に大きくのしかかる。
問 小さな行政への転換について。
答 民間の経営感覚を取り入れ、市民、団体、事業者、行政の役割分担を明確にし、徹底したスリム化を図る。

市民目線による課題を先送りしない行政

問 市内外に公募を行わない「業務運営や実施体制」「衛生管理」等の審査を実施した結果、大野市の事業者（小浜支店）に決定。また、学校長、栄養教諭や給食主任、生徒の様子等を聞き取り、学校給食のあり方を検証している。
意見 市内で立ち上がる企業はなかったのか。小浜の税金を市外へ持つていける事はどの様にとらえているのか、しっかりと検証していただきたい。
問 若者や高校生との意見交換会ではどのような意見が出て、それをどう生かしていくか。
答 高校生がSNSを通じて飲食店のテイクアウト情報をまとめて発信したことから「おうちでごはん子育て世帯応援事業」において連携し飲食店の支援につなげた。若者のアイデアの提供や一緒に考え行動する機会を創設し活性化させる。



坂上 和代
議員

問 中学校給食業務を委託するに至った経緯と、それを実施するまでのスケジュールを問う。
答 調理員の人員確保に努めてきたが、調理員不足は解消できなかった。安定的な人員の配置を目的として中学校2校で給食調理業務委託を決めた。プロポーザルによる業者決定に向けて、7月1日から公募し7月22日に応募のあった1社を審査し、委託先として適当と判断して決定した。
問 業務委託の現状は。
答 小浜中学校は5名、小浜第二中学校は6名の調理員数で市の基準を満たしている。

給食調理業務委託先の決定経過と現状は

問 献立作成や地場産食材の使用については。
答 委託業者は、栄養教諭の献立に基づき、食材の発注、調理をしている。地場産食材の安全で美味しい給食が提供できる。
意見 昨年度は欠員状態だったが、決められていた定員が小浜中は6名、第二中は7名だった。生徒数と職員数の合計を比較するとほぼ同数なのに、今年は2校で2人少ない。給食の質の低下が気がかりだ。業務委託の終了は2023年3月31日。その後も安定した人員確保ができるのか、しっかりと検証を望む。調理員の正規採用を増やすという王道しかないと思う。
問 コロナ禍への対策で、介護事業所の収入減補填、PCR検査の拡充はできないか。
答 国の持続化給付金制度が活用できる。介護従事者が検査を受けられるよう関係機関に働きかける。
問 上下水道の基本料金は免除できないか。
答 運営上実施は困難。

一般質問



佐久間 博 議員

問 持続可能な行財政運営と改革の目的は。

答 社会情勢の変化に対応し市民福祉の向上を図っていく。

問 小さな行政への転換の内容と検証は。

答 保育園の民営化等13施設の指定管理制度を導入しコスト軽減を図った。

意見 施設設立のコンセプト等、常に指定管理者と市の協議が必要。

問 市民との協働体制の内容と検証は。

答 出前講座82件、高校生の食のまちおぼまテイクアウト情報等自発的活動もあった。

問 小浜市の特徴を活かした展望は。

答 豊かな自然、歴史文化、食等の地域資源を守り、地域力の育成に取り組み、北陸新幹線小浜開業を見据えた

ふるさと納税で地元特産品を広げよう！

新しい時代の小浜のまちの実現を目指す。

問 「ふるさと納税」の新たな取り組みは。

答 「小浜市新型コロナウイルス助け合い寄付金」の受け入れを開始した。

問 ふるさと納税協力業者への支援は。

答 パッケージ外注費用、分析経費や真空包装機の支援等を全国配送に向けて行っている。

問 今後のふるさと納税事業推進の考えは。

答 体験プログラムや宿泊券などを増やしてファンとリピーターを増やす。

問 本市の誇れる特産品に対する思いは。

答 地元協力業者と共に新たな特産品の開発を進めて、寄附者が小浜を応援したいと思えるよう取り組む。

意見 ふるさと納税事業拡充で、寄附者に特産品を届けて、地元特産品のレベルアップや地域経済の活性化、さらに本市のPRにつなげていく。



牧岡 輝雄 議員

問 嶺南と嶺北の医療格差の現状を伺う。

答 県は令和2年3月に福井県医師確保計画を策定した。計画では福井・坂井医療圏が医師多数区域、奥越・丹南・嶺南医療圏が医師少数区域として設定されており、嶺南地域で早期治療が必要な急性期医療など、概ね完結できない医師数確保が必要なる。これは県も認識している。

問 医師派遣の拡充について現状を伺う。

答 自治医科大学卒業医師・福井県医師確保修学資金貸与事業対象医師等の派遣は、令和2年度21名の要請に対し16名の派遣、そのうち専門医は3名、令和2年度は19名の要請に対し、15・5名の派遣が得られ、そのうち2名が

小浜病院の医師確保・運営に対する支援

専門医である。県は医師を直接採用し医師少数区域へ派遣する「ドクタープール制度」を運用し派遣体制の整備を行っている。

問 病院経営改善に向けた支援について伺う。

答 病院自らが経営改善に向けた努力しなければならぬ状況下にある中、専門的な知見を有するコンサルタントから、経営改善に関する現状、課題、その対策についてアドバイスを受けることにより、効果的な経営改善を進められると考えている。

問 高度医療機器の更新について伺う。

答 県に対し財政支援を要望している。その結果、救急医療に特化した機器の更新について県の助成対象として、令和2年度から4年計画で機器の更新を進めていくこととしている。計画では、14機種、総額約10億7000万円とし、そのうち2分の1を県の助成としている。



能登 恵子 議員

問 新型コロナウイルスから学び今後の対策を、各課に伺う。

答 保育園、認定こども園では、共働き家庭を配慮し開所、三密は避けられず、感染対策は十分に、保護者と子のストレスには、精神面のサポートを。小中学校の学力保障には、課題提示や動画教材にて在宅授業に工夫。相談事には、スクールカウンセラーによる支援を。在宅介護を受けておられる方や一人暮らし高齢者などには、包括支援センターが電話などで支援し確認の取れない方には、民生委員と連携してサポート。介護施設における取組は、日頃から様々な感染症対策をしてきた。より慎重に、今後のインフルエンザにも備え

コロナ禍の中でも、前進し続けること

る。妊婦に対する支援は、里帰り妊婦には妊娠後期でPCR検査を受けて出産を、現在オンライン相談や指導の準備中。小浜病院と地域の医療機関と保健所との連携については、県の「帰国者・接触者相談総合センター」で一元的に連携と実施を。

問 北陸新幹線小浜ルート早期開業のシナリオで、「敦賀開業から切れ目なく」とはどのような状況か。2030年開業には、今どのような状況でなければならぬのか。

答 令和4年度の予定で、最後の「評価書公表」まで5段階の手続きがあり、現在3段階目の現地調査中。それまでに、安定的財源の見通しを確保することが極めて重要な時期と捉え、関西や北陸地域との連携を強め、国に強く要望を。また、新駅周辺エリアの整備構想や計画など、小浜開業に備えたい。



くまがい ひさえ
熊谷 久恵
議員

問 有害鳥獣対策は。

答 嶺南6市町共同で策定されている嶺南地域鳥獣被害防止計画のもと行政・猟友会・住民が連携して実施。金網柵等の侵入防止、有害捕獲、住民主体の追い払い等の取り組みを3本柱とし対策を実施。サル対策については計画的個体数調整と加害度の高い群れの頭数半減を目標としている。

問 市街地に及ぶ鳥獣被害やサル群れ調査は。

答 サルによる家庭菜園被害や家屋侵入など数値に表れない被害もあると認識。GPS発信機を活用しサル群れの行動範囲・群れ数・群れ毎の頭数調査を実施している。

問 野生動物出没は散歩や通学路など身近にも危険が及ぶが対策は。

農地から市街地にも及ぶ鳥獣被害の対策

答 有害捕獲が困難な市街地では市民の理解と協力が必要。市街地にサルの餌がない環境づくり、農地等の防護管理と継続的な追い払い。事例では地域住民による受信機を活用したパトロールと玩具銃や花火による追い払いも効果あり。今後も住民主体の活動を推進。サル対策のチラシ配布や追い払い研修会を実施し地域住民の知識理解と協力を求める。

問 熊目警情報周知は。

答 警察・猟友会等の関係機関は元より地元区長・学校等の他の関係機関と電話等で情報共有のほか、周辺地域へ防災行政無線で注意喚起している。

問 自助判断には情報の速達性が重要。熊目撃や不審者情報など緊急情報は防災メールで一元化してはどうか。

答 関係各課や警察と具体的な内容を協議し防災メールの利用効果を高めたい。



ひがし ひろかず
東野 浩和
議員

問 今後のイメージ戦略の全体像は。

答 北陸新幹線敦賀開業や小浜縦貫線の開通は絶好の機会と捉える。街並み景観の整備、歴史・文化や食を味わえるスポットの研ぎ上げを進め、まちの駅をシンボルとし、海の風景と歴史を感じさせる建物の融合を発信したい。

問 まちを歩きたいと思う動機づけが重要と考えるが。

答 近年、地域の暮らす空間に触れたいとする観光客が増えている。伝統的な街並みや、文化財を単に見るだけでなく、日本遺産認定時のストーリーと合わせた情報発信を行うことで、他にはない動機づけになると考える。

問 メインルートの設定とさまざまな仕掛け

まち歩き観光の推進！そのシナリオは

作りが必要と考えるが。

答 メインルートはJR小浜駅からまちの駅、丹後街道を経由して小浜西組の三丁町までの周遊コースと考えており、その区間内の特徴を生かし、空き店舗を活用した飲食店や土産物屋の開業、風情ある町並みの整備、案内看板の設置などを予定している。

問 市民や団体、事業者等の協力体制は。

答 飲食店等の事業者が複数連携し、屋外で食事をする事業を予定している。また、このモデルを契機に、地域住民が主体となり賑わいを創出する体制を作りたい。

意見 対象区域となる仏教会に協力を得ることが大きな力になると考える。

問 ホスピタリティを向上させるには。

答 各種の研修やイベントを通し、自信をもって案内できることが重要と考える。



すぎもと かずのり
杉本 和範
議員

問 人口動向と今後の予想は。

答 現在の本市の人口は29007人、社人研の推計では2045年には19978人となる。年少人口ならびに生産年齢人口の減少が、老年人口に比べて顕著になり、今後についても少子化は進むと予測。

問 女性・若者の人口流出の傾向は。

答 高校生年齢まで育った子どもたちは、大学進学や就職に伴い男性では約37%、女性では約50%が県外に転出。そのうち、男性では約40%、女性では約29%がUターンしていると推測され、若者特に若い女性の人口流出が多い傾向。

問 市長が選挙公約で掲げられた人材の「育

市長が考える本市の人材育成について

成に関するビジョンは。

答 子どもたちの成長段階に合わせた取り組みを通じて、ふるさとの良さを知り、地域への誇りを高め、郷土愛を深めることは、将来の地域の担い手の育成につながる非常に大切な取り組みであると考えている。コロナ禍で市内の高校生がいち早くSNSを活用した市内飲食店のテイクアウト情報の収集と発信に取り組むなど、素晴らしいアイデアと行動力を発揮しまち全体を動かす大きな原動力となっている。引き続き、人々の育成にしっかりと取り組んでまいりたい。今後は、新たな働き方の実現に向けた就業・創業環境の整備等、若い世代の流出を抑える施策にも取り組むなど、将来の北陸新幹線全線開業も見据えた、若者が住みやすい新時代のふるさと小浜をデザインしてまいりたい。

一般質問



かわしる まさかず
川代 雅和
議員

問 国・県など支援対策について情報の周知とサポート体制はどうしているか。

答 若狭おばま観光協会、小浜商工会議所と連携して、申請相談窓口を設置し登録サポートを行っている。今後も引き続き連携を図り国や県の支援対策の情報や県の周知、手続きなどのサポートを行っている。きたい。

問 今後、小浜市独自の観光支援事業について伺う。

答 観光客に安心して小浜市に来ていただくように、衛生環境改善のための店舗改装や感染予防対策の備品・設備等経費を補助する「観光事業者感染拡大防止支援事業」を創設して、現在活用を呼びかけている。また、特産

民宿等経営の支援・地域防災力について

品の購入や飲食店などでの利用を促し、滞在時間の延長や観光消費額の拡大を図る目的に、宿泊客に対するお札の手紙を添えておばまチケットをプレゼントする「ようこそ小浜へお客様歓迎事業」を創設する予定である。

問 本年8月に結成された「小浜市防災士の会」と連携した取り組みについて市の考えを伺う。

答 当会は、防災知識を活かし、市民の安心と安全を高めるための活動を目的に発足した。当会の活動は、始まったところではあるが、地域の自助・共助を高めるための防災講座の開催や自主防災組織への活動支援などの事業が計画されている。市としても、当会との連携を図り、防災講座の開催や自主防災組織が実施する避難訓練への支援等を行ない、地域防災力の強化・向上につなげていきたい。

議会活動日誌

(主な活動のみ掲載しています)

7月

日	曜	行事等内容	出席者
1	水	「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式 原水爆禁止国民平和大行進	議長 関係議員
2	木	若狭消防組合議会	関係議員
7	火	広報委員会	関係議員
10	金	全員協議会	全議員
17	金	地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
21	火	福井県原子力環境安全管理協議会(敦賀市)	議長
26	日	レストラン内外海竣工式及び内覧会	議長
27	月	北陸新幹線早期全線開業特別委員会、議会報告会連絡会	関係議員
29	水	議会運営委員会	関係議員

8月

日	曜	行事等内容	出席者
1	土	まちの駅リニューアルオープン記念式典	議長
2	日	福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会(福井市)	議長
6	木	第6次小浜市総合計画調査特別委員会 福井県市議会議長会定期総会(福井市)	全議員 正副議長
7	金	北陸新幹線早期全線開業特別委員会研修会	関係議員
9	日	万灯祭	議長
11	火	全員協議会 地域防災・原子力安全対策特別委員会	全議員 関係議員
12	水	嶺南市町議長会定例会	正副議長
17	月	議会運営委員会	関係議員
18	火	議会報告会連絡会、公立小浜病院組合議会	関係議員
20	木	議会運営委員会	関係議員
21	金	全員協議会	全議員
26	水	福井県市議会議長会県要望活動(福井市)	議長
27	木	令和2年第4回定例会、予算決算常任委員会 広報委員会	全議員 関係議員
31	月	産業教育常任委員会・分科会	関係議員

9月

日	曜	行事等内容	出席者
1	火	総務民生常任委員会・分科会	関係議員
2	水	広報委員会	関係議員
4	金	議会運営委員会	関係議員
10	木	令和2年第4回定例会(一般質問) 総務民生常任委員会	全議員 関係議員
11	金	令和2年第4回定例会(一般質問) 地域防災・原子力安全対策特別委員会、北陸新幹線早期全線開業特別委員会、各派代表者会	全議員 関係議員
14	月	予算決算常任委員会、全員協議会 議会報告会連絡会	全議員 関係議員
17	木	令和2年第4回定例会、全員協議会 議会運営委員会、広報委員会、議会報告会連絡会	全議員 関係議員
18	金	産業教育分科会(決算)	関係議員
23	水	産業教育分科会(決算)	関係議員
24	木	総務民生分科会(決算)	関係議員
25	金	総務民生分科会(決算)	関係議員
28	月	地域防災・原子力安全対策特別委員会	関係議員
30	水	第6次小浜市総合計画調査特別委員会、予算決算常任委員会管内視察	全議員

編集後記

コロナ禍の終息がなかなか見えない中、新しい生活様式が定着しつつあるように思います。意外な効果で、今年は夏風邪の患者数が大幅に減少したとの報道もあります。今後も一人一人が予防意識をしっかりとっていただくことを願います。

さて、我々広報委員会では『手に取って読んでもらえる議会だより』をテーマに今回、リモート会議による研修会で構成を学び、一部紙面変更を行いました。試行錯誤の中ではありますが、今後も、チャレンジ精神をもって改善していきたいと思えます。ぜひ皆様のご意見をお聞かせ下さい。

(広報委員 東野浩和)

特集 予算決算常任委員会で管内視察を実施

予算決算常任委員会では、令和元年度の決算審査の一環として9月30日、全議員18名で市内5カ所の視察を行いました。

原子力災害の備えは万全か

原子力災害対策施設整備事業(市民体育館)

事業費 2億5,068万149円

原子力災害時に、5～10km圏内の在宅避難行動要支援者の避難準備が整うまでの間、一時退避するため屋内退避施設の整備



幼保連携型認定こども園で子育ての支援を

認定こども園整備事業補助金

事業費 6,889万7,000円

聖ルカ幼稚園が幼保連携型認定こども園へ移行するための施設整備に対する補助



小浜の新しい顔が完成

(仮称)小浜駅前インフォメーションセンター整備事業

事業費 5,619万5,067円

小浜駅前に観光案内のほか、レンタサイクルを備えた「小浜市インフォメーションセンター」を設置



電動レンタサイクルも好評

小浜西組重伝建地区がグレードアップ

都市再生整備計画事業(小浜地区中・西部地域)のうち

電線地中化工事等

事業費 6,922万3,400円

小浜西組の三丁町などにおいて、電線地中化や消火栓の設置、舗装改良等の工事を実施



鯖街道ミュージアムを歴史文化の発信地に

・(仮称)鯖街道MUSEUM整備事業

事業費 2,600万円

・都市再生整備計画事業(小浜地区中・西部地域)のうち
いづみの広場整備工事 事業費 3,374万8,000円

・鯖街道MUSEUM展示ソフト作成事業 事業費 275万円
日本遺産の案内施設として、いづみ町に「小浜市鯖街道ミュージアム」を整備



視察を終えて

市民の皆様のご生活・福祉の向上と安心・安全の確保が図られるよう、議会としてしっかりチェックと議論を行いました。

この結果が、今後の施策に反映され、より良い市政運営が行われるよう尽力してまいります。

●ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信(本会議終了後約2週間程度で視聴できます)などさまざまな情報を掲載しています。



あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか? おばま市議会だよりの表紙写真募集中!!

詳しい要項や過去の議会だより表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
 2. 画像データは1作品2～3MB程度のJPEGデータ
- ※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2～3MB程度でお願いします。

【応募方法】

・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス: gikai@city.obama.fukui.jp

・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。